

ご あ い さ つ

北海道高等学校教育研究会
会 長 林 恵 子

盛夏の候となりました。北海道高等学校教育研究会の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

本研究会「高教研」は、北海道高等学校長協会のもとに組織され、昭和 39 年（1961 年）1 月に初めて開催され、今年で 57 年目を迎えます。先輩の皆様の並々ならぬ北海道高校教育への熱意と創意あふれる工夫によって築き上げられてきた伝統ある本研究会を、今後も会員の皆様とともに発展させ、御協賛くださる皆様の負託に応えながら、質の高い研究大会の実現を目指して参ります。

今年度より新学習指導要領の先行実施が始まり、各校で「総合的な探究の時間」などに精力的に取り組まれているところですが、すでに次の改革の動きも始まっています。今年 4 月には「新しい時代の初等中等教育の在り方について」の中教審諮問がありました。5 月には教育再生実行会議第十一次提言「技術の進展に応じた教育の革新、新時代に対応した高等学校改革について」が出されました。そこでは、少子高齢化、就業構造の変化、グローバル化、技術革新の急激な進展などにより、高等学校を取り巻く状況が激変している中で、これからの高等学校においては、生徒一人一人が能動的に学ぶ姿勢を身に付けるとともに、文理両方をバランスよく学ぶこと等を通じ、Society5.0 をたくましく生きる力を身に付けることが求められていると指摘されています。

平成から令和へと元号が改まったことで、日常でも「新しい時代の始まり」が意識されることが多くなりました。昨今、教育の未来に関して語られるときにも、AI や IoT、Society5.0 への対応など、たくさんの新しい言葉を耳にします。今、私たちに問われているのは、それらの言葉を、自分たちの学校や目の前の生徒とどのようにつないで、新しい時代に向かってどのように進んでいけばいいのか、という点であるように思います。

この大会は 1 日目の全体会で日本の社会や文化、科学、教育などの分野で活躍されている著名な講師の講演をお聞きし、2 日目の教科部会で教科に関する先進的な研究や教育実践についての研修を行っています。今年度の全体会は、北海道大学北極域研究センター 研究推進支援教授 齊藤誠一氏を講師にお迎えします。先端技術を駆使したスマート水産業や、様々な課題に学際的に取り組む北極域研究について語っていただくことと思います。AI や IoT の活用、産官学の連携、学びと社会を結ぶこと、サステナビリティ（持続可能性）など、言葉として上空を飛び交っているものを捕らえ、自分事の現実に取り付けて感じ取ることにつながる御講演になるのではないかと期待しています。

今後も北海道高等学校教育研究会が、全道各地で高校教育に邁進される多くの皆さんを互いにつなぐ素晴らしい機会であり続けることと、ここで生まれる新たな知見が北海道の高校教育の向上の一助となることを祈念し、挨拶といたします。

2019（令和元）年度 総会 報告

5月7日の午後1時30分より、ホテルライフオーツ札幌において、本年度の総会・第1回研究協議会が開かれました。全道から地区支部長と各教科部会長が集まり、平成30年度事業の実施報告・2019（令和元）年度事業計画の審議、役員の変更、研究協議が行なわれました。以下、その概要をお知らせします。

（1）平成30年度 事業実施報告

- ア 会報 第109号発行 （平成30年7月）
- イ 大会案内発行 （平成30年11月）
- ウ 大会要項発行 （平成31年1月上旬）
- エ 第56回北海道高等学校教育研究大会報告
 - ① 第1日目 全体集会 （平成31年1月9日）札幌市民交流プラザ（札幌文化芸術劇場hitaru）
 - ② 第2日目 教科別集会 （平成31年1月10日）各会場
- オ 研究紀要 第56号発行 （平成31年3月15日）
- カ 会報 第110号発行 （平成31年3月15日）

（2）2019（令和元）年度 事業計画

ア 第57回北海道高等学校教育研究大会

① 全体集会

期 日 令和2年1月8日（水）
 会 場 札幌市民交流プラザ（札幌文化芸術劇場hitaru）
 研究主題 北海道の新たな時代を拓く高等学校教育の創造
 日 程

9:00	12:00	13:00	13:40	15:40
	準備	受付	開会式	講演

運 営 大会役員

講 演

講 師 北海道大学北極域研究センター 研究推進支援教授
齊 藤 誠 一 氏

演 題 未定

司 会 者 釧根支部 北海道白糠高等学校 福田敏憲 教頭先生

■全体講演講師 齊藤誠一氏プロフィール

1953年生まれ。1975年に北海道大学水産学部漁業学科を卒業。同大学大学院を修了し、1984年水産学博士。同年、財団法人日本気象協会中央研究所研究員、1988年に同情報処理部主任技師、1991年に同情報処理部専任主任技師、1993年に北海道大学水産学部漁業学科漁業航海学講座助教授、2000年に同大学院水産科学研究科資源計測学講座教授、2015年4月より2019年3月まで北極域研究センター長。この間、2007年、2008年の国際極年（IPY）に北大水産学部附属練習船「おしよろ丸」による北極海研究調査航海チーフサイエンティストを務める。専門は衛星海洋学および水産海洋学。2016年PICES（北太平洋海洋研究機構）のWoosterアワードを受賞。2018年までフューチャーアースのIMBeRプロジェクトの地域研究プログラムESSAS（亜寒帯海洋および北極域海洋の海洋生態系研究）の共同議長を務めた。現在、WGICA（中央北極海における統合的な海洋生態系アセスメント ICES/PICES/PAME 合同ワーキンググループ）の共同議長を務める。



② 教科別集会

期 日 令和2年1月9日（木）
 会場・テーマ 教科部会ごとに決定
 日 程（概要）

9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受付	講演又は 研究協議	昼食 (休憩)	講演又は 研究協議	部会 ・総会

※ 部会により時程は多少異なります。

講 師 各教科部会で決定（委嘱状・依頼状については、教科部会事務局で発送）

2019（令和元）年度北海道高等学校教育研究会 教科別テーマ・会場

部 会	会 場	研 究 テ ー マ
国 語	かでの 2・7 大会議室	主体的・対話的で深い学びの活用 学びの基盤としての国語教育を目指して
地歴・公民	北海道札幌英藍高等学校	広い視野に立ち、主体的に生きる資質・能力を育む学習指導の工夫・改善
数 学	札幌エルプラザまたは ポリテクセンター北海道	数学的活動を充実させ、数学的に考える資質・能力を育成する数学教育
理 科	北海道札幌西高等学校	豊かな科学的自然観を育成する理科教育はどうあるべきか 主体的・対話的で深い学びを重視した指導法の研究・実践 自ら探究する力を育む実験・観察の研究・実践
保健体育	北海道建設会館	主体的・対話的で深い学びのある保健体育授業をめざして
養 護	札幌市教育文化会館	現代的な健康課題の解決と学校保健活動の推進をめざして
芸 術	札幌大谷大学	豊かな心や創造性の涵養を目指す芸術教育
英 語	北星学園大学	21世紀に生きる地球市民をはぐくむ英語教育 ～新しい流れに対応する授業を目指して～ ～ In Pursuit of New Wave of English Teaching ～
家 庭	札幌エルプラザ または ポルト	生涯を見通して生活を創造する力を育む家庭科教育
農 業	ホテルライフオーツ札幌	グローバル化に対応するため、科学的視点を踏まえた農業教育の実践 ～学校農場を活用した農業クラブ活動の発展～
工 業	ANAクラウンプラザホテル札幌	社会の発展に貢献する工業教育の創造と実践
商 業	札幌市教育文化会館	未来を拓く有為な人材を育成するビジネス教育
水 産	北海道小樽水産高等学校	変化の激しい時代を切り拓く水産・海洋教育はいかにあるべきか
情 報	北海道札幌北高等学校	私たちにとっての問題解決 授業改善の質的変換への挑戦

◎ 参加料 会員 2,000 円 非会員 3,500 円 一般 1,000 円（全体集会）1,500 円（教科別集会）
高等学校教員は全体集会のみ、教科別集会のみ参加でも参加料は同じです。
また、当日参加も参加料は同じです。

イ 研究紀要 第 57 号発行

発行 令和 2 年 3 月

ウ 会 報 第 111 号、第 112 号 発行

① 第 111 号 発行：令和元年 7 月 内容：2019（令和元）年度総会報告

② 第 112 号 発行：令和 2 年 3 月 内容：第 57 回研究大会報告及び第 58 回研究大会の概要について

研究紀要執筆者募集要項

教科での研究紀要は各教科部会へ、教育一般は各地区支部へ申し出て下さい。たくさんのご応募をお待ちしています。なお執筆者は本研究会の会員に限ります。

① 原稿募集の種類

(ア) 教科は、1 教科につき 10 ページ以内〔横書き 横 24 文字 2 段組み 1,000 行〕

(原稿の集約・審査は各教科部会長の担当です)

(イ) 教育一般は、1 編につき 10 ページ以内〔横書き 横 24 文字 2 段組み 1,000 行〕

(原稿の集約・審査は各地区支部長の担当です)

② 日 程

執筆申込締切日 教科部会・地区支部まで 8 月 26 日（月）

執筆者本部決定 9 月 11 日（水） 原稿提出締切 11 月 7 日（木）

全体講演の歩み

～ 第29回大会以降 ～

回	開催年度	講師氏名	演題
29	平 3	なだいなだ (精神科医 作家) 坂本 与市 (北海道文理科短期大学学長)	心の底をのぞく オスとメスのエソロジー
30	平 4	伊東 光晴 (放送大学教授 京都大学名誉教授) 古葉 竹識 (野球評論家)	技術革新の現在と社会の変容 耐えて勝つ
31	平 5	C.W.ニコル (作家) 若井 邦夫 (北海道大学教育学部教授)	自然と人間 子どもが発達するとき -必要とあそびのあいだ-
32	平 6	中村雄二郎 (明治大学法学部教授) 杉岡 昭子 (札幌国際プラザ専務理事)	共通感覚と自己表現 「故郷忘れがたく候」の旅
33	平 7	河合 雅雄 (京都大学名誉教授/日本福祉大学教授) 山中 燦子 (北海学園大学人文学部教授)	人間 -進化の道からずれた動物 世界の中の日本と日本人
34	平 8	佐原 真 (国立歴史民俗博物館副館長) 横湯 園子 (北海道大学教育学部教授)	大むかしと現代 子どもを観る目 -教育臨床心理の立場から-
35	平 9	浅井 信雄 (神戸市外国語大学教授) 中野 武房 (北海学園北見大学教授)	国際化と私たちの暮らし カウンセリングを体験してみませんか
36	平 10	梶田 叡一 (ノートルダム女子大学学長) シンポジウム	変革期の高校教育を考える 「今こどもの心は」 -問題行動の背景を探る-
37	平 11	養老 孟司 (北里大学教授)	からだと脳
38	平 12	河合 隼雄 (京都大学名誉教授)	青春の夢
39	平 13	阿部 謹也 (共立女子大学学長)	日本社会の構造と教育
40	平 14	五木 寛之 (作家)	日本人のこころ
41	平 15	毛利 衛 (宇宙飛行士/日本科学未来館館長)	宇宙の視点からの教育
42	平 16	寺島 実郎 (三井物産戦略研究所所長 /日本総合研究所所長)	世界潮流と日本および北海道の進路
43	平 17	吉村 作治 (早稲田大学国際教養学部教授)	夢の実現の仕方
44	平 18	桜井 進 (河合塾、早稲田塾、数学講師 /sakurAi Science Factory 主催)	サウンド オブ サイエンス ジョン・ネイピア ～対数誕生物語
45	平 19	金子 勝 (慶應義塾大学経済学部教授)	ニュースの嘘と教育
46	平 20	阿刀田 高 (作家) 阿刀田慶子 (朗読家)	アイデアの発見
47	平 21	福岡 伸一 (青山学院大学理工学部化学・生命科学科教授)	科学のおもしろさをどう伝えるか
48	平 22	見田 宗介 (東京大学名誉教授)	現代社会はどこに向かうか
49	平 23	内田 樹 (神戸女学院大学名誉教授)	転換期の教育 -グローバリズムに抗して
50	平 24	川口淳一郎 (宇宙航空研究開発機構教授)	「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、 その7年間の歩み
51	平 25	古賀 稔彦 (柔道家、古賀塾塾長、医学博士)	夢の実現 ～挑戦することの大切さ
52	平 26	大棟 耕介 (NPO 法人 日本ホスピタル・クラウン協会理事長 愛知教育大学非常勤講師)	心を開き、活気を生み出す『笑い』の力 ～ホスピタル・クラウンの現場から～
53	平 27	溝上 慎一 (京都大学高等教育研究推進センター教授 大学院教育学研究会(高等教育開発論講座)兼任)	社会に繋がる学習 -アクティブラーニングとトランジション-
54	平 28	中島 岳志 (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)	自主規制はいかにして起きるのか
55	平 29	児美川孝一郎 (法政大学キャリアデザイン学部教授)	地域の未来をつくるキャリア教育の創造 - 新学習指導要領が示唆すること -
56	平 30	新井 紀子 (国立情報学研究所社会共有知研究センター センター長・教授 一般社団法人教育のための科学研究所代表理事・所長)	AI時代の教育～社会はどこへ向かうか

2019(令和元)年度 北海道高等学校教育研究会 役員・地区支部長・教科部会長・本部事務局

〔役員〕

会 長	林 恵子	(札幌旭丘)			
副 会 長	高橋 豪	(札幌琴似工業)			
	西岡 憲廣	(札幌山の手)			
	鈴木 浩	(札幌月寒)			
	中村 正人	(札幌平岸)			
監 事	野元 基	(札幌新川)			
	池田 隆	(札幌東商業)			
顧 問	尾崎 信夫	染谷 昌志	綾井 健二	武田 泰明	
	田村 勸	島 隆	青塚 健一	金間 正克	
	宮浦 俊明	守屋 開	佐々木高至	石黒 清裕	

〔地区支部長〕

〔石狩〕	渡邊祐美子	(千歳北陽)
〔道南〕	佐藤 裕之	(函館西)
〔後志〕	清水美由紀	(ニセコ)
〔空知〕	駒井 博和	(芦別)
〔道北〕	小林為五郎	(旭川東)
〔オホーツク〕	合浦 英則	(紋別)
〔釧根〕	塙 浩伸	(白糠)
〔十勝〕	三条 歩	(帯広緑陽)
〔日胆〕	菅原 雅之	(平取)

〔教科部会長〕

〔国語〕	倉内 慶一	(札幌あすかぜ)
〔地歴・公民〕	中坪 俊博	(札幌英藍)
〔数学〕	菅原 和良	(札幌東陵)
〔理科〕	田邊 裕二	(苫小牧西)
〔保健体育〕	林 満章	(札幌東豊)
〔養護〕	渡邊祐美子	(千歳北陽)
〔芸術〕	渡部 秀治	(天塩)
〔英語〕	渡辺 文貴	(千歳)
〔家庭〕	井上 明子	(登別青嶺)
〔農業〕	小田島数幸	(新十津川農業)
〔工業〕	高橋 豪	(札幌琴似工業)
〔商業〕	鈴木 恵一	(札幌啓北商業)
〔水産〕	木村 司	(小樽水産)
〔情報〕	佐藤 健	(えりも)

〔事務局〕

事務局 長	矢田 春義	(札幌旭丘)		
事務局 次長	三関 直樹	(札幌旭丘)	後藤 邦昭	(札幌旭丘)
	松林 憲人	(札幌旭丘)	春木 孝之	(札幌旭丘)

〔地区支部〕

地区支部	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
石狩	千歳北陽	古谷 尚	066-8611	千歳市北陽2丁目10番53号	0123-24-2818	0123-24-2840
道南	函館西	藤島 尚子	040-0054	函館市元町7番17号	0138-23-8415	0138-22-3235
後志	ニセコ	川添 雅文	048-1731	虻田郡ニセコ町字富士見141番地9	0136-44-2224	0138-43-2031
空知	芦別	三浦 信一	075-0041	芦別市本町40番地13	0124-22-2164	0124-22-2164
道北	旭川東	須藤 克志	070-0036	旭川市6条通11丁目左	0166-23-2855	0166-23-2623
オホーツク	紋別	花松 均	094-8643	紋別市南が丘町6丁目3-47	0158-23-3068	0158-23-3974
釧根	白糠	福田 敏憲	088-0323	白糠郡白糠町西4条北2丁目2番地8	01547-2-2193	01547-2-2826
十勝	帯広緑陽	渡辺 幹夫	080-0861	帯広市南の森東3丁目1-1	0155-48-6603	0155-48-6603
日胆	平取	後藤あゆみ	055-0107	沙流郡平取町本町109番地2	01457-2-2709	01457-2-2849

※教頭が担当

教科部会	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
国語	北広島西	榊 優美	061-1105	北広島市西の里東3丁目3-3	011-375-2771	011-375-2661
地歴・公民	札幌英藍	谷 尊仁	002-8053	札幌市北区篠路町篠路372-67	011-771-2004	011-771-2013
数学	札幌東陵	川嶋 哲典	007-8585	札幌市東区東苗穂10条1丁目2-24	011-791-5055	011-791-5095
理科	札幌西	本間 順	064-8624	札幌市中央区宮の森4条8丁目1番	011-611-4401	011-611-4403
保健体育	札幌東豊	三上 英一	007-0820	札幌市東区東雁来町376番1	011-791-4171	011-791-9116
養護	札幌工業	笹谷 幸	060-0820	札幌市北区北20条西13丁目	011-727-3341	011-727-3344
芸術	札幌東陵	佐藤 弘法	007-8585	札幌市東区東苗穂10条1丁目2-21	011-791-5055	011-791-5095
英語	千歳	藤田 博史	066-8501	千歳市北栄1丁目4-1	0123-23-9145	0123-23-2742
家庭	札幌厚別	坂口真奈美	004-0069	札幌市厚別区厚別町山本750-15	011-892-7661	011-892-7799
農業	新十津川農業	藤沼 悟	073-1103	新十津川町字中央13	0125-76-2621	0125-76-2292
工業	札幌琴似工業	佐藤 寿彦	063-0833	札幌市西区発寒13条11丁目3-1	011-661-3251	011-661-3252
商業	札幌啓北商業	堀野 智宏	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15-1	011-591-2021	011-591-2023
水産	小樽水産	岡崎 玲	047-0001	小樽市若竹町9-1	0134-23-0670	0134-23-4553
情報	札幌稲雲	鶴間 伸一	006-0026	札幌市手稲区手稲本町6条4丁目1番1号	011-684-0034	011-684-0040

[部会長校] 国語(札幌あすかぜ)、理科(苫小牧西)、養護(千歳北陽)、芸術(天塩)、家庭(登別青嶺)、情報(えりも)

2019(令和元)年度 会員登録状況

・追加登録は6月20日(木)～10月17日(木)です

(令和元年7月8日現在)

	国語	地歴 公民	数学	理科	保健 体育	養護	芸術	英語	家庭	農業	工業	商業	水産	情報	合計	前年 合計
石狩	106	114	132	130	81	34	47	134	42	3	19	57	1	33	933	938
道南	15	14	13	10	11	5	3	17	5	4	3	10	39	1	150	155
後志	5	7	9	11	8	2	3	10	3	16	3	12	34	2	125	130
空知	15	11	17	15	12	4	7	9	4	15	3	12	0	2	126	142
道北	21	27	26	20	21	7	5	26	7	33	13	24	0	5	235	262
オホーツク	15	15	16	17	9	3	3	18	3	9	4	11	0	1	124	148
釧根	14	23	19	13	13	1	6	20	9	11	6	7	11	3	156	158
十勝	14	8	10	9	6	3	3	15	2	20	5	4	0	5	104	116
日胆	12	26	11	19	11	6	6	19	5	11	8	9	0	4	147	156
合計	217	245	253	244	172	65	83	268	80	122	64	146	85	56	今年度 2,100	
前年合計	228	266	272	248	180	62	98	297	75	127	74	142	84	52	前年度 2,205	

◎会員数の推移

年度	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
会員数	3,466	3,362	3,232	3,142	3,063	3,049	2,785	2,721	2,592	2,473	2,369	2,283	2,256	2,196	2,197	2,132

事務局より

「第111号」と1が3つ並んだ会報の発行番号を見て、57年の歴史の重みと縁起の良さを感じています。科学技術が進化した現在でも、「ぞろ目の数」はなんとなく良いことがありそうな予感がします。

さて、今年の全体集会も昨年に引き続き札幌文化芸術劇場 hitaru で実施いたします。研修と交流を深める場として、研修内容の充実を図りながら、道内の先生方の期待に応えるべく準備をすすめております。

「久しぶり」と語らい「はじめまして」と新たな交流の輪が広がる。離れても手軽にSNSで連絡が取り合える昨今ですが、語らいや出会いが醸し出す温かい雰囲気が高教研の良さではないかと感じております。そんな雰囲気を会場で皆様と共有できますことを楽しみにしております。

1月8日(水)札幌文化芸術劇場 hitaru でお会いしましょう。

発行 2019(令和元)年7月
 北海道高等学校教育研究会本部事務局
 〒064-8535
 札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5番18号
 市立札幌旭ヶ丘高等学校内
 TEL 011-513-2238 FAX 011-513-2244
 Eメールアドレス d-kokyoken@sapporo-c.ed.jp